

Bluetooth 2次元スキャナ
BW-845BT
ユーザーズマニュアル



AIMEX
Corporation

改版履歴

版数	日付	改版内容
1	2025/05/01	初版発行

目 次

1. はじめに	5
1.1 同梱品の確認.....	5
1.2 オプション品.....	5
1.3 ■ 保証について.....	5
1.4 ■ 修理について.....	5
1.5 ■ サポートについて.....	6
2. 安全上のご注意	7
3. 製品仕様	11
3.1 一般仕様.....	11
3.2 各部名称.....	12
3.2.1 BW-845BT本体.....	12
3.2.1 充電クレードル(CRD-BW100).....	13
3.2.2 USB dongle(BTR-UK5).....	13
3.2.3 スタンド(STD-845).....	14
3.2.4 USB電源(PS06CA050K1000JU).....	14
3.3 外形寸法図.....	15
3.4 システム構成.....	16
3.4.1 Bluetooth接続時の構成.....	16
3.4.1.1 Bluetooth HID.....	16
3.4.1.2 Bluetooth SPPマスター.....	16
3.4.1.3 Bluetooth SPPスレーブ.....	17
3.4.1.4 USB dongle HID.....	17
3.4.1.5 USB dongle CDC.....	18
3.4.2 USB接続時の構成.....	19
3.4.2.1 USB HID.....	19
3.4.2.2 USB CDC.....	19
3.4.3 メモリモードの構成.....	20
3.4.3.1 メモリモード.....	20
4. 読み取り範囲	21
4.1 視野角チャート.....	21
4.2 読み取り深度チャート.....	22
5. 操作説明	23
5.1 電源のオンとオフ.....	23
5.2 充電.....	23
5.2.1 USBケーブルでの充電.....	23
5.2.2 充電クレードルでの充電.....	23
5.3 BLUETOOTHのペアリングと接続.....	24
5.3.1 ペアリング.....	24
5.3.1.1 HIDキーボード.....	24
5.3.1.2 SPPマスター接続.....	24
5.3.1.3 SPPスレーブ接続.....	24
5.3.1.4 USB dongle HIDキーボード / CDC.....	24
5.3.2 接続.....	24
5.3.1 ペアリングの解除.....	25
5.4 メモリモードの開始と終了.....	25
5.5 スキャンモード.....	25
5.6 読み取り方法.....	26
6. 設定変更	27
6.1 設定変更の概要と手順.....	27

6.2	クイック設定	27
6.2.1	クイック設定の設定手順	27
6.3	詳細設定	27
6.3.1	設定モードの開始と終了	27
6.3.2	設定モードでの設定手順	28
7.	クイック設定用コマンドバーコード	29
7.1	システム設定	29
7.1.1	工場出荷時初期化	29
7.1.2	オートパワーオフの設定	30
7.1.3	ブザーの設定	31
7.2	インターフェース設定	32
7.2.1	Bluetoothインターフェースの設定	32
7.2.2	USB dongleのUSBインターフェース設定	33
7.2.3	USB接続時の動作設定	34
7.2.4	USB接続時のUSBインターフェース設定	35
7.3	HID設定	36
7.3.1	Bluetooth・USB接続時のキーボード言語	36
7.3.2	USB dongleのキーボード言語	39
7.3.3	Bluetooth接続時のキー入力速度	40
7.3.4	USB接続・USB dongle接続時のキー入力速度	41
7.3.5	文字コード	42
7.3.6	HID制御文字	43
7.3.7	iOSでのソフトキーボード表示	44
7.4	メモリモード設定	45
7.4.1	メモリモードの開始と終了	45
7.4.2	蓄積データの送信	46
7.4.3	蓄積データの消去	46
7.4.4	蓄積データの件数確認	47
8.	詳細設定用コマンドバーコード	48
8.1	システム設定	48
8.1.1	スキャンモード	48
8.1.2	自動検知モード感度	49
8.1.3	エイミング	50
8.1.4	イルミネーション照度	51
8.1.5	デコードエリア	52
8.1.6	ベリファイ回数	53
8.1.7	デコードタイムアウト	54
8.1.8	同一バーコード2度読みタイムアウト	55
8.2	シンボル設定	56
8.2.1	初期設定一覧	56
8.2.2	全シンボル読取禁止	57
8.2.3	UPC-A	58
8.2.4	UPC-E	64
8.2.5	JAN/EAN-8	70
8.2.6	JAN/EAN-13	75
8.2.7	Code128/GS1-128	79
8.2.8	Code39	81
8.2.9	Code93	86
8.2.10	Codabar(NW-7)	88
8.2.11	ITF(Interleaved 2 of 5)	92
8.2.12	Matrix 2 of 5	95
8.2.13	GS1 DataBar 14	97
8.2.14	GS1 DataBar Expanded	100
8.2.15	GS1 DataBar Limited	103
8.2.16	GS1 Composite	105

8.2.17	PDF417.....	108
8.2.18	Data Matrix	110
8.2.19	QR Code	113
8.3	データフォーマットの設定	116
8.3.1	シンボル ID	116
8.3.2	プリフィックス	117
8.3.3	サフィックス.....	119
8.3.4	終端キャラクタ	121
8.3.5	Caps Lock.....	122
8.3.6	大文字/小文字変換	123
8.3.7	GSキャラクタ変換	124
8.3.8	先頭データの削除	125
8.3.9	終端データの削除	126
9.	付録.....	127
9.1	数字バーコード	127
9.2	シンボルバーコード	128
9.3	ASCIIバーコード	131
9.4	ファンクションキーバーコード	163
9.5	シンボルID一覧.....	167
9.6	設定一覧と初期値	169

1. はじめに

このたびは Bluetooth2次元スキャナ「BW-845BT」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、本製品のハードウェア、ソフトウェアの使い方について説明しています。
ご使用の前に本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Google、Android は、米国 Google Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Apple、iPhone、iPad は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ その他、本マニュアルに記載されている製品名および会社名は、それぞれの企業の登録商標または商標です。
- ・ 本マニュアルの著作権はアイメックス株式会社にあり、本マニュアルの一部または全てを無断で使用、複製することは著作権法により禁じられています。
- ・ 本製品の仕様に関しては、将来予告無しに変更することがあります。

1.1 同梱品の確認

本製品の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

＜梱包内容＞

- ◆BW-845BT 本体 1 台
- ◆充電クレードル 1 台
- ◆USB ケーブル 1 本

1.2 オプション品

本製品には、別売のオプション品があります。弊社営業部までお問い合わせください。

- ◆USB ドングル BTR-UK5
- ◆スタンド STD-845
- ◆USB 電源 PS06CA050K1000JU

1.3 ■ 保証について

製品の無償保証期間は、ご購入日より1年間とさせていただきます。

ただし、無償期間中でもお客様のお取扱いによる故障、損傷などは有償になります。また、本製品の運用の結果生じた損失・損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

1.4 ■ 修理について

製品の修理は全てセンドバック方式で行わせていただきます。

修理が必要になった場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

修理に関するお問い合わせは、弊社 WEB サイトのお問い合わせの「修理依頼」に入力してください。

1.5 ■ サポートについて

保証・保守・修理サポートについての詳細は、弊社ホームページ
<https://www.aimex.co.jp/support>
をご覧ください。

2. 安全上のご注意

ご使用の前に本書をよくお読みになり、ご使用の際には事故につながるような使い方をしないように心がけてください。

表示された内容に従わず、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される緊急性が高い内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりすることが想定される内容を示しています。

「ご注意」には、次の記号で内容の区分を示しています。

	「禁止」事項を表します。この記号が付いた行為等は、行わないでください。
	「強制」事項を表します。この記号が付いた行為等は、必ず行ってください。
	注意していただきたい事項です。この記号が付いた行為等にはご注意ください。

⚠ 危険

	高温になる場所（火や暖房器具のそば、炎天下など）、湿気やほこりの多い場所、引火性ガスの発生する場所で、使用、放置はしないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。		電子レンジや高圧容器などの中に入れてください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。
	火の中に投入したり、加熱したりしないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。		コネクタの端子をショートさせたり、ハンダ付けしたりしないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
	水や海水などに浸けたり、濡らしたりしないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。		濡れている状態では、使用しないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。

⚠ 警告

	発熱・発煙・異臭などが発生した時は、直ちに使用を中止し、充電中の場合は USB ケーブルや充電クレードルを外してください。 そのまま使用すると、発熱、発火の原因になります。		落下や投げつけなどで、強い衝撃を与えないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。
	本体内部に異物を入れないでください。 本体内部に異物や液体が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、感電、火災、故障の原因になります。		分解、改造をしないでください。 けがや感電、火災などの事故または故障の原因になります。内部の点検、調整はお買い上げの販売店にご依頼ください。 改造などにより生じた問題については、一切の責任を負いかねます。
	高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しないでください。 電子機器（医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など）が誤動作するなどの影響を与えることがあります。		本体内部に異物を入れないでください。 本体内部に異物や液体が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、感電、火災、故障の原因になります。
	充電は製品に添付された専用の USB ケーブルと充電クレードルを使用してください。 結線の異なるケーブルや他の充電器で充電すると、発熱、破裂、発火の原因になります。		充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了し無い場合は、充電をやめてください。 漏液、発熱、破裂、発火、故障の原因になります。

⚠ 注意

	不安定なところに置かないでください。 けがや故障の原因になります。		乳幼児の手の届くところに置かないでください。 けがなどの原因になります。
	PC、蛍光灯、電子レンジなど、ノイズを発する機器からはなるべく離して使用してください。 ノイズの影響により正常に読み取りや通信ができなくなる場合があります。		必ず手に持って操作してください。 床や机に置いたままの状態では操作をすると機器の故障や誤動作の原因となります。
	磁石、ブザー、スピーカー、ブラウン管、RFIDアンテナの近くなど、強い磁界が発生する恐れがあるところで使用、保管しないでください。 本体の誤動作や故障の原因になります。		水をかけたりしないでください。 本体は水没、噴射水に対し保護されません。内部に水が入り感電、火災などの事故または故障の原因になります。
	本製品は、事務用、産業用などの一般的用途を想定したものであり、以下のように高度な安全性が要求される用途での使用を想定した製品ではありません。 陸上／海上／航空輸送／交通の運行制御管理／原子力核施設の制御管理／生命維持装置の制御管理など 弊社は、このような生命、人体、環境に対し重大な危険性を伴う用途での使用により発生した損害に対し、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。		

⚠ 電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく技術適合証明を受けた通信機器を内蔵しています。
- 本製品を分解したり、本製品の内部に触れたりすることは電波法で禁止されており、法律で罰せられることがあります。故障の際の内部点検、調整はお買い上げの販売店にお任せください。
- 本製品は、下記のような状況でご使用にならないでください。
 - ・本製品を、磁石の近くで使用しないでください。正常な動作が妨げられたり、無線性能の劣化の原因となります。
 - ・心臓ペースメーカーや医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
 - ・電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。電子レンジからは、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
 - ・本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社営業担当にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

2.4FH10

使用周波数帯	2.4GHz 帯
変調方式	FH-SS 方式
想定干渉距離	100m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能。

本製品には、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。



工事設計認証番号：210-142898

3. 製品仕様

3.1 一般仕様

項目		仕 様
メモリ		2MB フラッシュ ROM
キー		全 1 個 (トリガキー)
LED		全 1 個 (SCAN)
ブザー		あり
スキャナ部	読み取り方式	640×480 イメージセンサ
	読み取り照明	白色 LED
	エイマー	赤色 LED
	分解能	1D : 0.1016mm 2D : 0.1778mm
	PCS	0.2 以上
	読取深度	20~120mm (Code39 0.127mm 時) 50~280mm (JAN 0.33mm 時) 30~170mm (QR Code 0.381mm 時)
	視野角	38° (水平) × 25° (垂直)
	傾斜読み取り	スキュー : ±60° ピッチ : ±60° ロール : ±360°
	読取コード (1D)	JAN/EAN-13, JAN/EAN-8, UPC-A/E, ITF (Interleaved 2of5), Codabar (NW-7), Code39, Code93, Code128/GS1-128, Matrix2of5, GS1 DataBar (14/Expanded/Limited)
	読取コード (2D)	PDF417, Micro PDF417, Data Matrix, QR Code, Micro QR Code GS1 Composite (CC-A/CC-B/CC-C)
Bluetooth 通信部	規格	Bluetooth Specification Ver3.0 + EDR (Class2)
	通信距離	最大 10m
	プロファイル	HID, SPP
USB 通信部	コネクタ形状	Type-C コネクタ
	通信規格	USB1.1 Full-speed (HID/COM クラス)
電源		リチウムイオン 2000mAh
充電機能		充電クレードル または USB Type-C ケーブル
充電時間		3~4 時間
寸法		166 (L) × 66 (W) × 86 (H) mm
重量		約 165g
コネクタ		USB Type-C
消費電流	動作時	240mA±5% (MAX.)
	待機時	55mA±5%
環境性能	使用温度	0°C~40°C
	使用湿度	5~95% (但し結露無きこと)
	保存温度	-40°C~70°C
	保存湿度	5~95% (但し結露無きこと)
	周囲光照度	蛍光灯 : 8,600 lx 以下 太陽光 : 100,000 lx 以下

3.2 各部名称

3.2.1 BW-845BT本体



No.	名称	機能
①	読み取りウィンドウ	バーコードデータと設定変更用バーコードの入力に使用します。
②	トリガキー	トリガモードで使用する際バーコード読み取りスイッチに使用します。
③	SCAN LED	読み取り可能な状態の時に青色点灯します。 バーコードを読み取った際、一瞬緑色に点灯します。
④	充電端子	充電クレードルから電源の供給を受けます。
⑤	USB コネクタ	電源供給およびデータ転送用にホスト PC と接続します。

重要

- ・USB 電源は別売のオプション品をお買い求めいただくか、お客様がご用意ください。
- ・必ず、BW-845BT に同梱の USB ケーブルを使用してください。

3.2.1 充電クレードル(CRD-BW100)

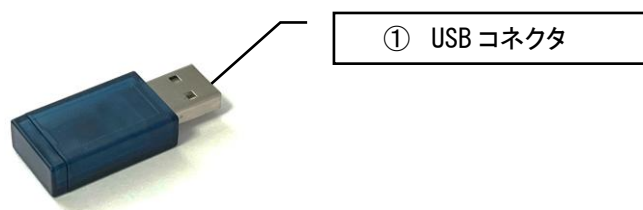


No.	名称	機能
①	USB コネクタ	付属の USB ケーブルで、充電用の USB 電源と接続します。

**重
要**

- ・USB 電源は別売のオプション品をお買い求めいただくか、お客様がご用意ください。
- ・必ず、BW-845BT に同梱の USB ケーブルを使用してください。
- ・充電クレードルは、充電専用です。USB による通信はできません。

3.2.2 USB Dongle(BTR-UK5)



No.	名称	機能
①	USB コネクタ	PC の USB コネクタに接続します。

**重
要**

- ・USB Dongle BTR-UK5 は別売のオプション品です。BW-845BT には同梱されていないので、別途お求め下さい。

3.2.3 スタンド(STD-845)

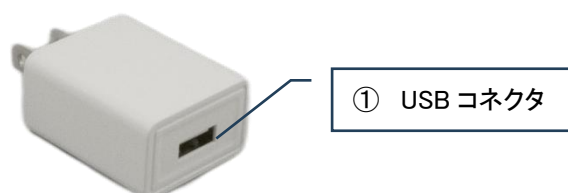


No.	名称	機能
①	ホルダー部	BW-845BT を装着する場所です。

**重
要**

スタンド STD-845 は別売のオプション品です。BW-845BT には同梱されていないので、別途お求め下さい。

3.2.4 USB電源 (PS06CA050K1000JU)

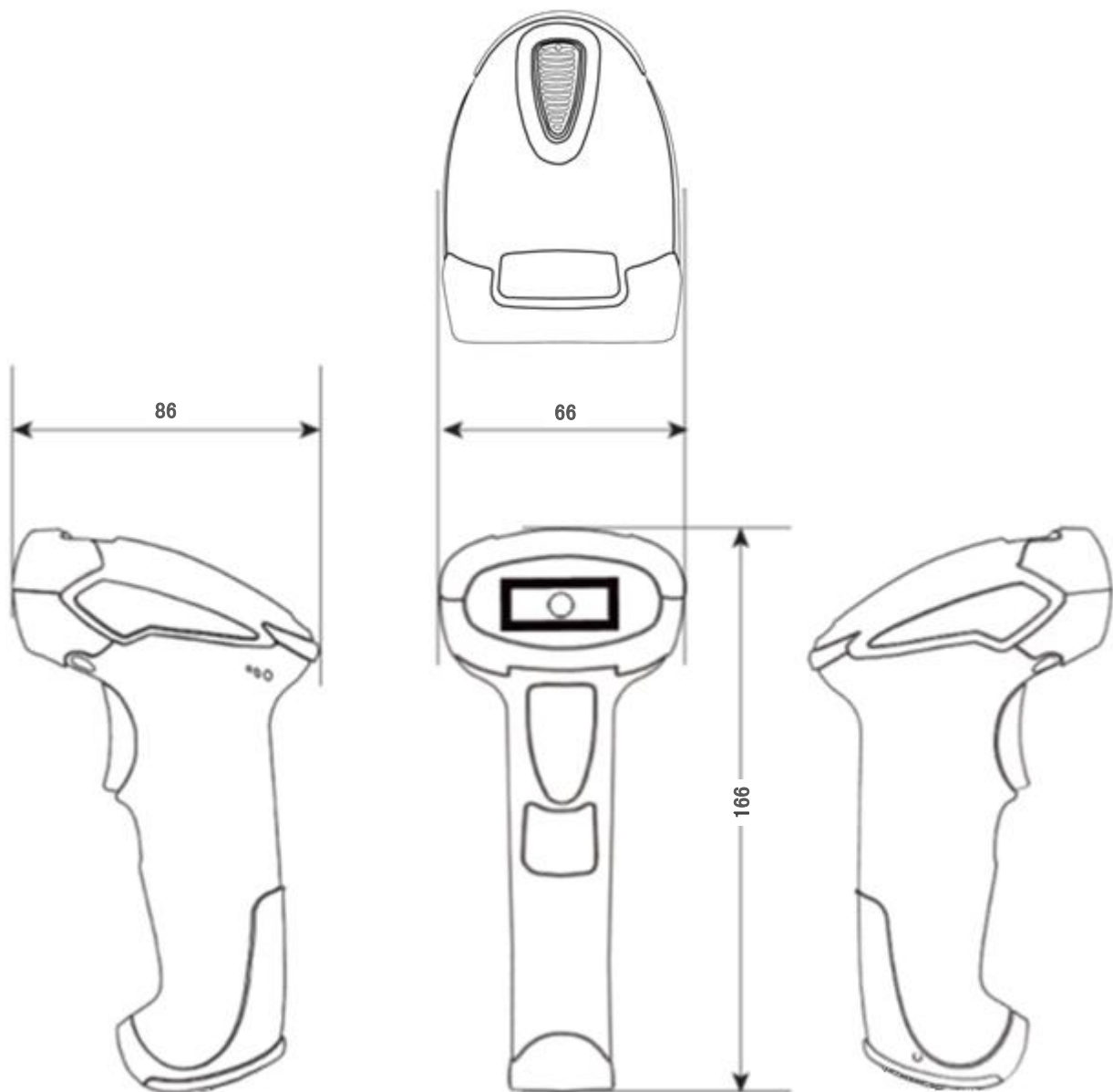


No.	名称	機能
①	USB コネクタ	付属の USB ケーブルで、BW-845BT や充電クレードルと接続します。

**重
要**

・USB 電源 PS06CA050K1000JU は別売のオプション品です。BW-845BT には同梱されていないので、別途お求め下さい。
・必ず、BW-845BT に同梱の USB ケーブルを使用してください。

3.3 外形寸法図



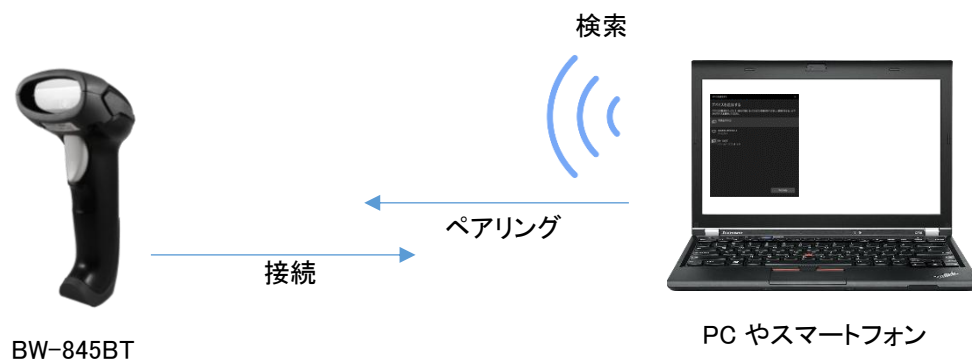
3.4 システム構成

3.4.1 Bluetooth接続時の構成

3.4.1.1 Bluetooth HID

BW-845BT と PC を HID(Human Interface Device Profile)で接続する構成です。

ペアリング時はホストである PC やスマートフォンから BW-845BT を検索します。
ペアリング後は、BW-845BT から接続します。



3.4.1.2 Bluetooth SPPマスター

BW-845BT が Bluetooth のマスターになり、PC 等のホストは Bluetooth のスレーブとなって接続し、通信する構成です。

BW-845BT は事前に設定した Bluetooth Device Address(リモートアドレス)に対してペアリングと接続を行います。
(7.2.1 Bluetooth インターフェースの設定を参照)

接続後は、SPP(Serial Port Profile)で通信を行います。

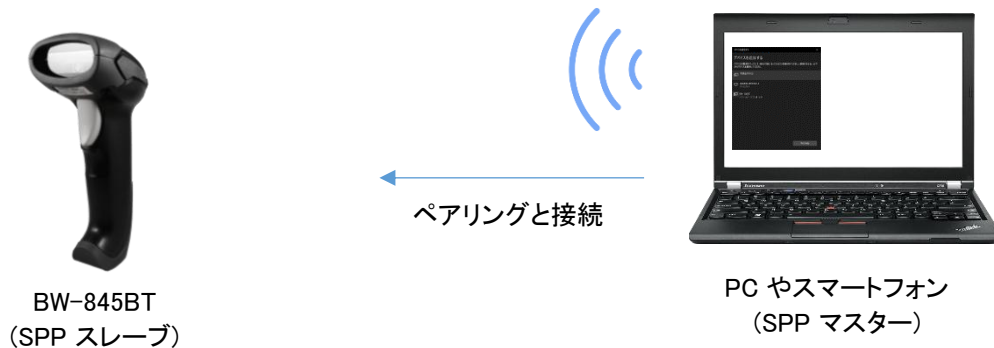


3.4.1.3 Bluetooth SPPスレーブ

BW-845BT が Bluetooth のスレーブになり、PC などのホストは Bluetooth のマスターとなって接続し、通信する構成です。

ホストである PC やスマートフォンが BW-845BT に対してペアリングや接続を行います。

接続後は、SPP (Serial Port Profile) で通信を行います。



3.4.1.4 USB dongle HID

PC に装着したオプション品の USB ドングル (BTR-UK5) に対して、BW-845BT から Bluetooth で接続する構成です。USB ドングルは、USB-HID として動作します。

事前に、ペアリングしたい USB ドングルの Bluetooth Device Address (リモートアドレス) を、BW-845BT に設定しておくことで、そのドングルに対してペアリングと接続を行います。(7.2.1 Bluetooth インターフェースの設定 を参照)

USB ドングルのアドレスは、ドングルに貼られた銘板にバーコードで印字されているので、それを BW-845BT で読み取らせます。

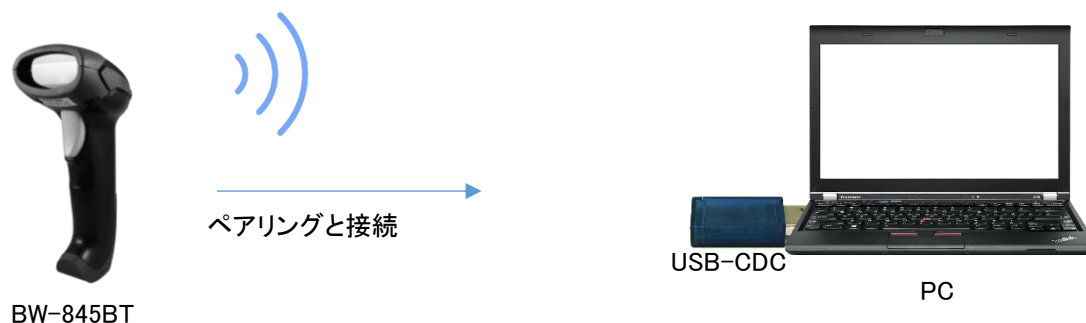


3.4.1.5 USB dongle CDC

PC に装着したオプション品の USB ドングル (BTR-UK5) に対して、BW-845BT から Bluetooth で接続する構成です。USB ドングルは、USB-CDC として動作します。

事前に、ペアリングしたい USB ドングルの Bluetooth Device Address (リモートアドレス) を、BW-845BT に設定しておくことで、そのドングルに対してペアリングと接続を行います。(7.2.1 Bluetooth インターフェースの設定を参照)

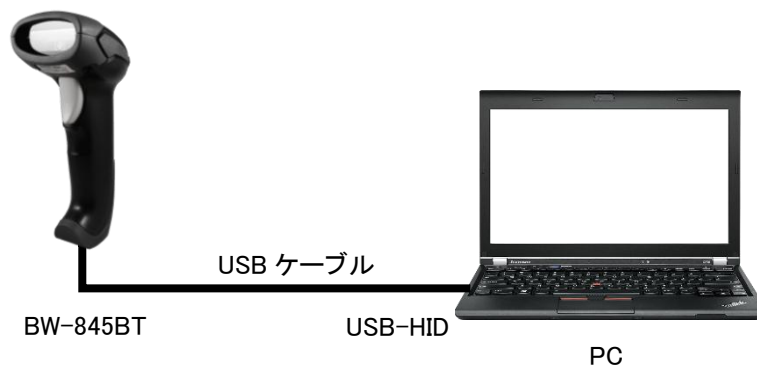
USB ドングルのアドレスは、ドングルに貼られた銘板にバーコードで印字されているので、それを BW-845BT で読み取らせてます。



3.4.2 USB接続時の構成

3.4.2.1 USB HID

PC に USB ケーブルで BW-845BT を接続する構成です。
USB-HID として動作します。

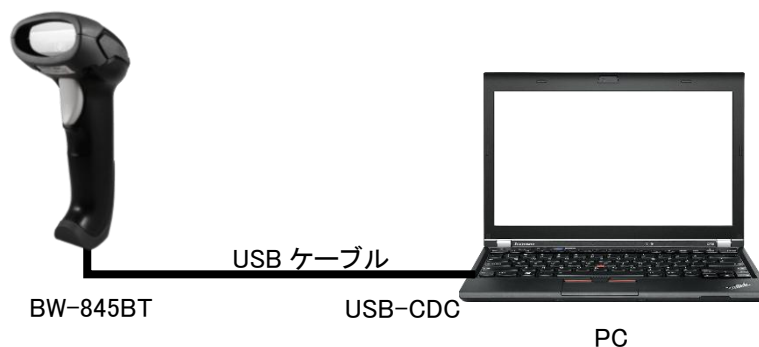


**重
要**

- ・必ず、BW-845BT に同梱の USB ケーブルを使用してください。
- ・USB 接続は、初期状態で「無効(充電専用)」になっています。USB 接続で通信させたいときは、事前に「有効」に設定してください。(7.2.3 USB 接続時の動作設定を参照)

3.4.2.2 USB CDC

PC に USB ケーブルで BW-845BT を接続する構成です。
USB-CDC として動作します。



**重
要**

- ・必ず、BW-845BT に同梱の USB ケーブルを使用してください。
- ・USB 接続は、初期状態で「無効(充電専用)」になっています。USB 接続で通信させたいときは、事前に「有効」に設定してください。(7.2.3 USB 接続時の動作設定を参照)

3.4.3 メモリモードの構成

3.4.3.1 メモリモード

読み取ったデータを BW-845BT の中のメモリに保存し、スタンドアローンで動作します。

読み取ったデータを PC などのホストにアップロードするときは、Bluetooth 接続するか USB 接続したあとに、【蓄積データ転送】のバーコードを読み取らせます。

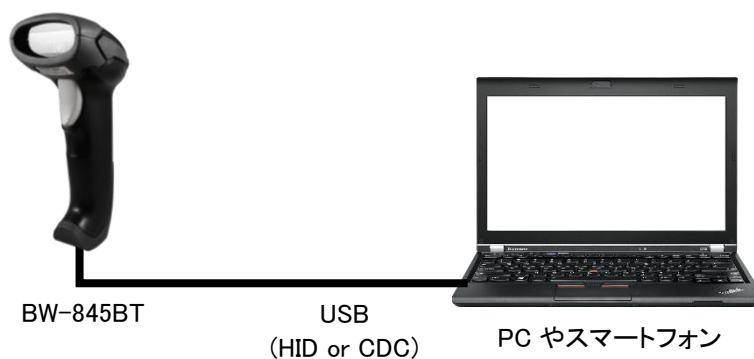
■バーコード読み取り時



■データのアップロード時

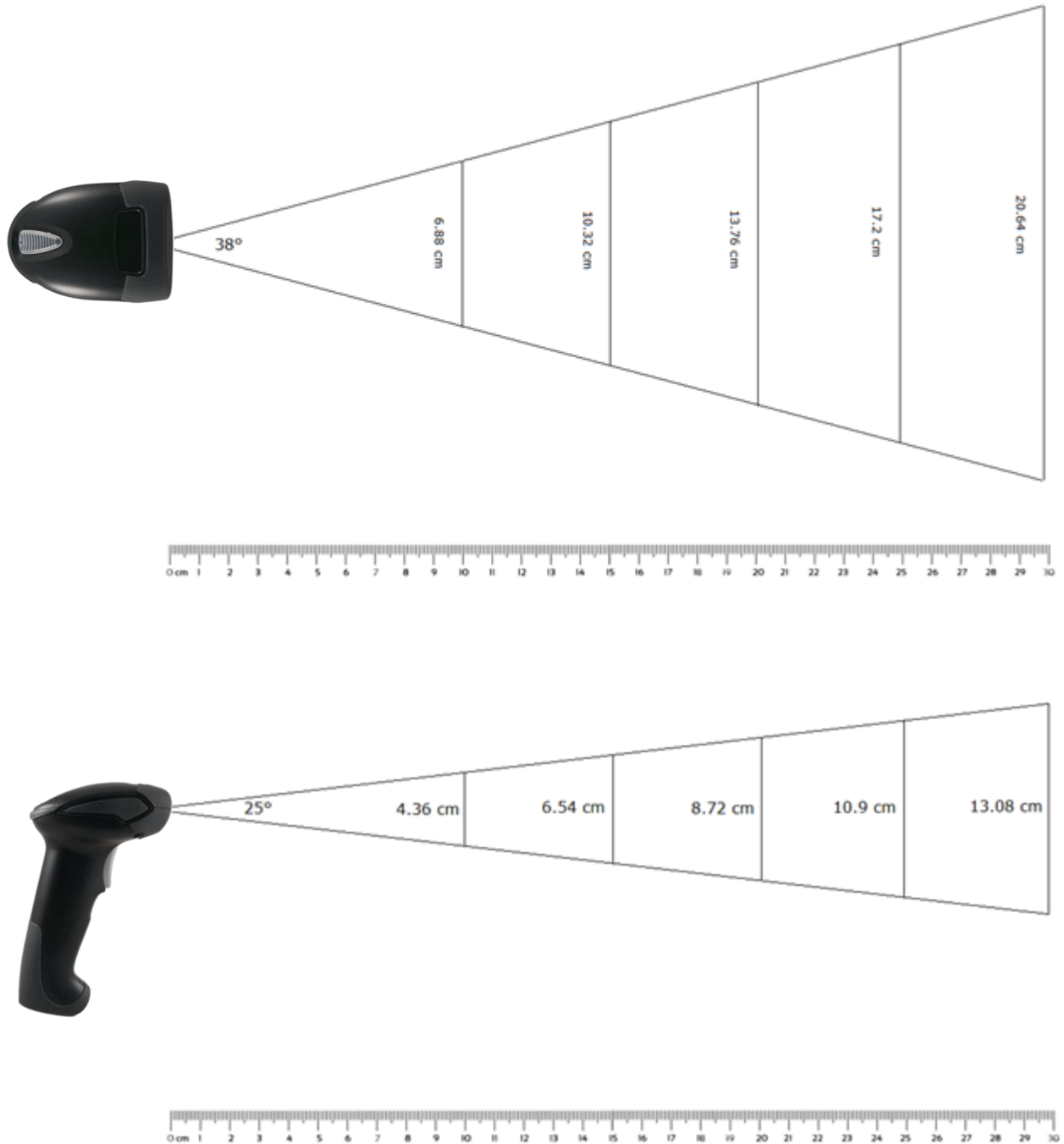


または、

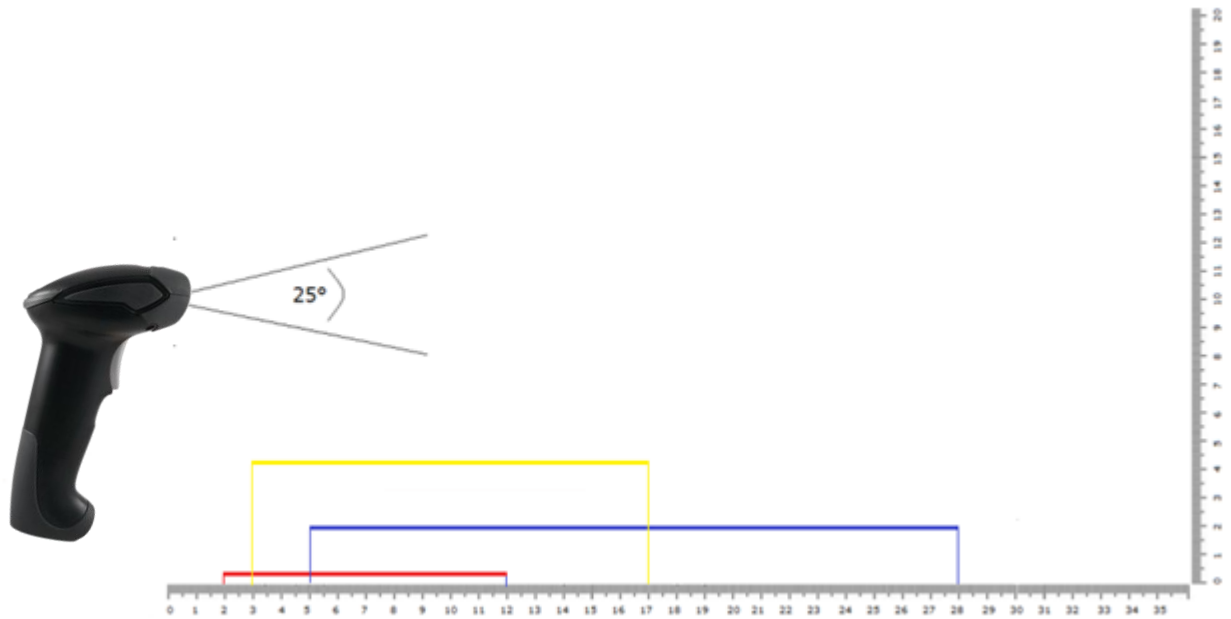


4. 読み取り範囲

4.1 視野角チャート



4.2 読み取り深度チャート



QR 0.381mm, 30~170mm

JAN 0.33mm, 50~280mm

Code39 0.127mm, 20~120mm

5. 操作説明

5.1 電源のオンとオフ

本製品は、内蔵のリチウムイオン電池で動作します。

充電クレードルまたは USB ケーブルで充電してからご使用ください。

電源をオンするには、電源オフ状態において、トリガキーを押してください。

充電していないときに一定時間操作をしないと、オートパワーオフで電源がオフになります。

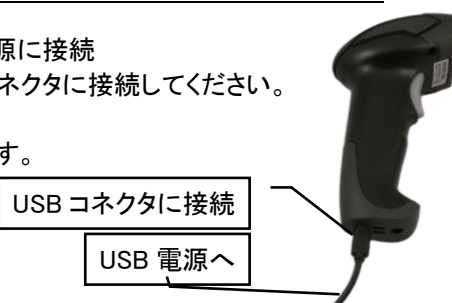
5.2 充電

5.2.1 USBケーブルでの充電

本製品に同梱されている USB ケーブルの Type-A コネクタを、USB 電源に接続

します。続いて、USB ケーブルの Type-C コネクタを、本製品の USB コネクタに接続してください。

充電中はステータス LED が橙色に、充電が完了したら緑色に点灯します。



注
意

- ・USB 電源は別売のオプション品をお買い求めいただくか、お客様がご用意ください。
- ・必ず、BW-845BT に同梱の USB ケーブルを使用してください。

5.2.2 充電クレードルでの充電

本製品に同梱されている USB ケーブルの Type-A コネクタを、USB 電源に接続します。続いて、USB ケーブルの Type-C コネクタを、充電クレードルの USB コネクタに接続します。

本製品を充電クレードルに置くと、充電が開始されます。

充電中は SCAN LED が赤色に、充電が完了したら緑色に点灯します。



注
意

- ・USB 電源は別売のオプション品をお買い求めいただくか、お客様がご用意ください。
- ・必ず、BW-845BT に同梱の USB ケーブルを使用してください。
- ・充電クレードルは、充電専用です。USB による通信はできません。

参
照

本製品は、USB 接続時に USB モードに遷移し、Bluetooth 通信を停止して USB 通信を開始する機能を持ちます。USB 接続は、初期状態では無効で、設定を変更することで有効になります。USB 接続が有効のとき、USB 電源で充電を開始したときも、USB 給電されることで USB 接続されたと認識するため、Bluetooth 通信が停止されます。また、充電クレードルで充電した際も、内部では USB で給電された扱いとなっているため、同様に Bluetooth 通信は停止されます。充電中も Bluetooth 通信を行うには、「7.2.3 USB 接続時の動作設定」で USB 通信を無効にしてください。

5.3 Bluetoothのペアリングと接続

5.3.1 ペアリング

本製品をホストに接続するには、最初に Bluetooth のペアリングを行う必要があります。ペアリングは、一度行えば、2 回目以降の接続時には不要です。ペアリングの情報は本製品とホストの双方の不揮発性メモリに保持され、本製品が電源オフ状態になっても保持されます。

各 Bluetooth インターフェースの設定におけるペアリング手順を解説します。

Bluetooth インターフェースの設定は「7.2.1 Bluetooth インターフェースの設定」を参照してください。

5.3.1.1 HIDキーボード

- ① 事前に、HID モードに設定してください。初期状態で HID モードです。
- ② 本製品の電源を ON します。SCAN LED が青色に点滅し、ペアリングの待ち受け状態になります。
- ③ ホストから Bluetooth の周辺デバイスを検索し、「BW845BT」のデバイス名を選択します。
- ④ ペアリングが成功すると、ホストと接続し、SCAN LED が青色に点灯します。

5.3.1.2 SPPマスター接続

- ① 事前に、SPP マスターモードに設定し、接続先のホストの Bluetooth アドレス(リモートアドレス)を設定してください。
- ② ホストをペアリング可能な待ち受け状態にします。
- ③ 本製品の電源を ON します。SCAN LED が青色に点滅し、ペアリングを開始します。
- ④ ペアリングが成功すると、引き続き LED が青色に点滅し、接続を試みます。
- ⑤ ホストのアプリケーションで接続の待ち受け状態にすると、本製品と接続し、SCAN LED が青色に点灯します。

5.3.1.3 SPPスレーブ接続

- ① 事前に、SPP スレーブモードに設定してください。
- ② 本製品の電源を ON します。ペアリング未実施の場合、SCAN LED が青色に点滅し、ペアリングの待ち受け状態になります。
- ③ ホストから Bluetooth の周辺デバイスを検索し、「BW845BT」のデバイス名を選択します。
- ④ ペアリングが成功すると、ステータス LED が青色に点滅し、接続の待ち受け状態になります。
- ⑤ ホストのアプリケーションから、本製品に対して Bluetooth 接続され、SCAN LED が青色に点灯します。

5.3.1.4 USB dongle HIDキーボード / CDC

- ① 事前に、USB Dongle のラベルのバーコードを読ませ、Bluetooth デバイスアドレスを記憶させます。
- ② USB Dongle を PC の USB ポートに接続します。
- ③ 本製品の電源を ON します。LED が青色に点滅し、USB Dongle に対してペアリングを開始します。
- ④ ペアリングが成功すると、USB Dongle と接続し、LED が青色に点灯します。
- ⑤ USB Dongle のインターフェースを HID と CDC から選択するには、モード切替の設定を行ってください。「7.2.2 USB Dongle の USB インターフェース設定」を参照。

5.3.2 接続

本製品は、ペアリングが完了している場合、電源 ON すると自動的に Bluetooth 接続を行います。

通信モードが【SPP スレーブ接続】である場合、ホストがマスターとなるので、ホストから接続を実行してください。

それ以外の通信モードでは、本製品から接続を行うため、ペアリングをした相手であるホストが接続の待ち受け状態になっていれば、接続され、本製品は Bluetooth モードに遷移します。

ホストが接続の準備状態に無い場合は、一定時間後にタイムアウトして電源オフとなります。

5.3.1 ペアリングの解除

ペアリング情報は、本製品の不揮発性メモリに保存され、電源オフでは消えることはありません。
ペアリングを解除したい場合は、工場出荷時初期化を行うか、【ペアリングの解除】の設定用コマンドバーコードを読み取ってください。

ペアリングを解除したあとは、PC やスマートフォン等のホスト側の Bluetooth デバイス一覧からも、本機を削除してください。
ホスト側にペアリング済みのデバイスとして本機が登録されていると、再度のペアリングが受け付けられなかったり、ホストから検索したときに本機が表示されないことがあります。

5.4 メモリモードの開始と終了

本機は、電源をオンしたときは Bluetooth モードで起動します。

読み取りデータをメモリに蓄積するメモリモードを開始、終了するには、2 つの方法があります。

- ① メモリモードの開始と終了のクイック設定用コマンドバーコードを読み取る
- ② トリガキーを 10 秒長押しする

どちらの操作でも、メモリモードを開始、終了できます。
メモリモード中は、LED が緑色に点灯し、読み取り音が変わります。

参
考

メモリモードの切り替えのコマンドバーコードは「7.4.1 メモリモードの開始と終了」をご覧ください。

5.5 スキャンモード

バーコードの入力方法として、3 つのスキャンモードが用意されています。
下表の通り、モードによってスキャナの動作が異なります。
デフォルト設定は「トリガモード」になっていますので、対象となるバーコードに読み取りウィンドウを向け、トリガキーを押すと読み取り動作となります。

モード名	動作	デフォルト
自動検知モード	スキャナ内蔵のセンサにて、“バーコードらしきもの”や被写体の動きを認識するとスキャン処理へ移行するモードです。トリガキーで強制的に読み取り状態とすることも可能です。 バーコードを読み取るか、タイムアウトで待機状態に戻ります。	
連続モード	常にスキャン処理を行うモードです。 バーコード読み取り後は自動的に次のスキャン処理へ移行します。	
トリガモード	トリガキーを押したときのみスキャン処理を行うモードです。バーコードを読み取るか、トリガキーを離すか、タイムアウトで待機状態に戻ります。	☆

参
考

スキャンモードの設定変更方法については「8.1.1 スキャンモード」をご覧ください。

5.6 読み取り方法

下図のように、読み取りウィンドウの前方にバーコードをかざします。

スキャナは「8.1.1 スキャンモード」の設定に従って読み取り状態となり、読み取り照明を照射してバーコードを読み取ります。

赤色の線状の光はエイミング光です。エイミング光は読み取り範囲のおおよその中心位置を示します。

読み取り照明は白色で、四角形で広範囲に前面を照らします。



**注
意**

読み取り可能範囲は読み取り照明の照射範囲より狭くなっています。

バーコードシンボルとスキャナの距離は、シンボルの大きさなどにより適切な距離が変わってきます。読み取りが悪いと感じる場合は、距離を変えてお試しください。

コードは全方向どちらの向きでも読み取り可能ですが、マージンを含めて視野に確実に入る位置で読み取ってください。

スキャナの読み取り照明光や室内光とシンボルの角度によっては、反射した光が部分的に強くなる鏡面反射が起こって読み取りできないことがあります。この場合はシンボルとスキャナの角度や距離を変えてお試しください。

6. 設定変更

6.1 設定変更の概要と手順

本機の設定は、設定用コマンドバーコードを読み取らせることで変更できます。
設定したパラメータは、本製品の不揮発性メモリに保存され、電源をオフしても初期化されることはありません。

コマンドバーコードは、大きく「クイック設定」と「詳細設定」の 2 つのグループに分かれます。

6.2 クイック設定

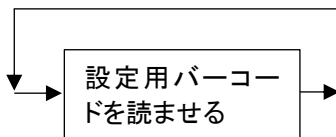
クイック設定に属する項目は、コマンドバーコードを読み取らせると即座に設定が変更され、新しい設定に従って動作します。

主に基本動作や通信インターフェースなどのシステムに関する設定がクイック設定の項目となっています。

クイック設定は詳細設定と異なり、設定モードに入る必要がありません。
通常動作中にコマンドバーコードを読み取らせることで設定を変更できます。

6.2.1 クイック設定の設定手順

クイック設定は、通常の読み取りモード中に、複数のコマンドバーコードを読ませて連続で設定変更ができます。



一部の設定を変更した際は、変更後に本機が自動的に再起動することがあります。
また、通信インターフェースに関する設定を変更した場合は、現在接続中のホストとは切断されることがあります。

6.3 詳細設定

詳細設定に属する項目は、設定モードに入って設定変更し、最後に設定モードを出ます。
主にスキャナの読み取りに関する設定が詳細設定の項目となっています。

設定モードは、「設定モード ON」というバーコードを読み取らせることで、本製品の設定を変更するためのモードです。
「設定モード ON」を読んだ後、詳細設定用のコマンドバーコードを読み取り、最後に「設定モード OFF」を読むと設定した内容が確定されます。

6.3.1 設定モードの開始と終了

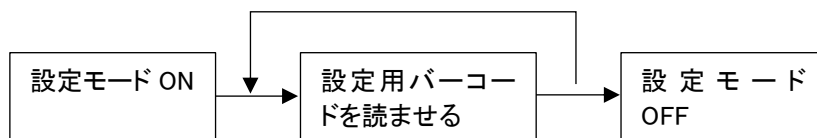
設定モードを開始/終了するには、以下の操作を行います。

- ① バーコード読取状態で、詳細設定の章に掲載された各ページの左上にある「設定モード ON」を読み取ります。
- ② ブザーが“ピピーツ”と鳴って設定モードに入ったことを通知します。

- ③ 設定用のコマンドバーコードを読み取ります。
- ④ 設定変更が終了したらページ右下にある「設定モード OFF」を読み取ります。
- ⑤ 起動時と同じく“ピロリッ”とブザーが鳴り、設定した内容が確定されます。
- ⑥ その後通常の読み取りモードに戻ります。

6.3.2 設定モードでの設定手順

設定モードでは、複数の詳細設定用コマンドバーコードを読ませて連続で設定変更ができます。



設定変更は、「設定モード OFF」を読み取るまで確定されません。

間違ったコマンドバーコードを読んってしまった場合は、その後に正しいコマンドバーコードを読ませてください。

7. クイック設定用コマンドバーコード

本章ではクイック設定用コマンドバーコードを項目別にまとめています。☆印は初期値を示します。
設定方法は、本機の動作中に、各コマンドバーコードを直接読み取ってください。直ちに設定変更が反映されます。

7.1 システム設定

7.1.1 工場出荷時初期化

設定を全て初期化し、工場出荷時の状態に戻します。



工場出荷時初期化

7.1.2 オートパワーオフの設定

オートパワーオフの時間を設定します。

充電しておらず、かつ無操作の状態で設定した時間を経過すると、自動的に電源オフになります。



☆1 分



6 分



12 分



30 分



60 分

7.1.3 ブザーの設定

ブザー音の鳴動を設定します。

- ON 読み取り時のブザー鳴動を許可します。
OFF 読み取り時のブザー鳴動を禁止します。



☆ON



OFF

7.2 インターフェース設定

7.2.1 Bluetoothインターフェースの設定

Bluetooth 通信の通信方式・接続構成を設定します。

Bluetooth HID	ホストと HID でペアリング・接続します
Bluetooth SPP (スレーブ)	ホストと SPP でペアリング・接続します。本機はスレーブになります
Bluetooth SPP (マスター)	ホストと SPP でペアリング・接続します。本機はマスターになります
USB ドングル (HID または CDC)	別売の USB ドングル BTR-UK5 とペアリング・接続します。USB ドングルは PC に USB で接続され、USB-HID または USB-CDC で通信します
ペアリング解除	ペアリングを解除します

 ☆Bluetooth HID	 Bluetooth SPP (スレーブ)
後述する解説を参考に自作してください Bluetooth SPP (マスター)	USB ドングルのラベルに印刷された バーコードを読み取ってください  USB ドングル (HID または CDC)
 ペアリング解除	

■Bluetooth SPP (マスター)でペアリングするときのバーコードの作成方法

SPP(マスター)でペアリングする際は、本機が主導してペアリングを行うため、接続相手の Bluetooth アドレスを指定しなければいけません。このため、Bluetooth SPP(マスター)のインターフェースに設定するためのコマンドバーコードは、お客様に作成していただく必要があります。

Code128 のバーコード種別にて、先頭が「%BSMA」で始まり、それに 12 桁の 16 進数のアドレスが連結されたものが、本設定用バーコードとなります。

例)ホストの Bluetooth デバイスアドレスが「78:46:5C:19:28:F8」の場合



7.2.2 USB dongle's USB interface setting

USB dongle and pairing when using, USB dongle and PC USB interface setting. USB interface is HID (keyboard) and CDC (virtual COM serial communication) selection.

This setting is performed while the USB dongle is connected. When the command barcode is read, the setting is changed for the USB dongle. The setting is saved in the non-volatile memory of the USB dongle, so it is maintained even if it is removed from the PC.

HID	USB dongle communicates with PC via USB HID
CDC	USB dongle communicates with PC via USB CDC



☆USB HID



USB CDC

注意

This command barcode is the same as the barcode for "7.2.4 USB connection USB interface setting".

When the command is read while the USB dongle is connected, the USB interface of the USB dongle is changed.

When the command is read while the USB cable is connected to the PC, the USB interface of the USB cable connection is changed.

7.2.3 USB接続時の動作設定

USB ケーブルで PC 等に接続したときの通信の有効/無効設定です。

無効(充電専用)に設定した場合は、USB 通信は行われません。USB ケーブルの接続は、充電専用に使
用されま
す。

有効に設定した場合は、USB 接続時に USB モードに遷移し、ホストと USB 通信を開始します。

USB 通信中は、Bluetooth 通信は停止され、USB を切断したあとに再開されます。USB 電源で充電を開始したと
きも、USB 給電されることで USB 接続されたと認識するため、Bluetooth 通信が停止されます。また、充電クレー
ドルで充電した際も、内部では USB で給電された扱いとなっているため、同様に Bluetooth 通信は停止されます。

無効(充電専用)
有効

USB 通信を無効にし、USB は充電専用になります
USB 通信を有効にします



☆無効(充電専用)



有効

7.2.4 USB接続時のUSBインターフェース設定

USB ケーブルで PC 等に接続したときの USB インターフェースの設定です。
USB インターフェースは、HID(キーボード)と CDC(仮想 COM によるシリアル通信)から選択できます。

本設定を行う前に、「7.2.3 USB 接続時の動作設定」を「有効」に設定してください。
また、本設定は、USB ケーブルで PC と接続している状態で行ってください。

HID	USB 接続時に USB HID で PC と通信します
CDC	USB 接続時に USB CDC で PC と通信します



☆USB HID



USB CDC

注 意	本項のコマンドバーコードは、「7.2.2 USB ドングルの USB インターフェース設定」と共通のバーコードになっています。
	USB ドングルとペアリング・接続時に本コマンドを読み取った時は、USB ドングルのインターフェースを変更します。
	USB ケーブルで PC と接続時に本コマンドを読み取った時は、USB ケーブル接続時のインターフェースを変更します。

7.3 HID設定

インターフェース設定を HID に設定した時に使用する、各種のオプション設定です。

7.3.1 Bluetooth・USB接続時のキーボード言語

Bluetooth および USB で接続したときのキーボード言語の設定です。

スキャナを接続するホスト PC で使用するキーボード言語を設定します。キーボードは国または言語によって配列が異なります。正しく設定されない場合、読み取り結果が誤って出力されます。
デフォルト設定は「日本語キーボード」です。

スマートフォンなどの一部のホストでは、画面に表示されている言語が日本語でも、接続するキーボードは英語配列を要求する機種があります。記号が文字化けする際は、本設定を「アメリカ」など他の言語に変更して動作をご確認ください。



☆ 日本



アメリカ



フランス



ドイツ



スペイン



チェコ



イタリア



ポルトガル



イギリス



スイス



トルコ Q



トルコ F



チェコ QWERTY



ハンガリー



ベルギー FR



ブラジル PT



カナダ FR



クロアチア



スロバキア



デンマーク



フィンランド



ラテンアメリカ ES



オランダ



ノルウェー



ポーランド



セルビア



スロベニア



スウェーデン

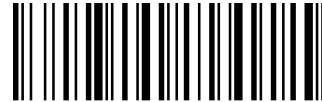
7.3.2 USB dongleのキーボード言語

USB Dongle BTR-UK5 と接続したときのキーボード言語の設定です。

USB Dongle を装着するホスト PC で使用するキーボード言語を設定します。キーボードは国または言語によって配列が異なります。正しく設定されない場合、読み取り結果が誤って出力されます。
デフォルト設定は「日本語キーボード」です。



☆ 日本



アメリカ

7.3.3 Bluetooth接続時のキー入力速度

Bluetooth 接続したときのキー入力速度の設定です。

HID で使用時には、読み取ったデータはキーボードのキー押下情報としてホスト端末に送信されます。
ホスト端末のスペックが低い時、あるいは負荷が高い時などに、ホスト端末がキー押下情報を取りこぼすことがあります。

キー押下情報を送信する間隔を開けることで、取りこぼしを回避できることがあります。



高速



やや高速



☆中速



やや低速



低速

7.3.4 USB接続・USB dongle接続時のキー入力速度

USB でホストに接続または USB Dongle BTR-UK5 と接続したときのキー入力速度の設定です。

HID で使用時には、読み取ったデータはキーボードのキー押下情報としてホスト端末に送信されます。

ホスト端末のスペックが低い時、あるいは負荷が高い時などに、ホスト端末がキー押下情報を取りこぼすことがあります。

キー押下情報を送信する間隔を開けることで、取りこぼしを回避できることがあります。



☆高速



やや高速



中速



やや低速



低速

7.3.5 文字コード

スキャナが使用する文字コードを設定します。

Windows WORD や Excel に、マルチバイト文字を入力できます。

ホストで Windows IME を使用しているときのみ、マルチバイト文字を入力できます。また、本設定と読み取りシンボル、ホスト PC のアプリケーションで使用するコードはすべて一致する必要があります。

デフォルト設定は「UTF-8 (WORD)」です。UTF-8 で作成されたバーコードを、Word 等 Unicode 系のアプリケーションに入力できます。

「Shift-JIS (Excel)」を選択すると、Shift-JIS で作成されたバーコードを、Excel に入力できます。



☆UTF-8 (WORD)



Shift-JIS (Excel)

7.3.6 HID制御文字

ASCII キャラクタのうち 0x1F 以下のキャラクタおよび 0x7F は制御文字のため表示可能な文字が割り当てられていません。HID キーボード選択時に、バーコードに制御文字が含まれていた場合、どのような方法で入力するかを設定します。

コントロールキーモード

キーボードに存在しない制御文字はコントロールキーの組み合わせ、あるいは ALT+数字(10 進)で出力されます。キーボードに存在する制御文字は、そのキーが入力されます。

制御文字	キー入力
0x00(NUL)～0x1A(SUB)	Ctrl+A～Ctrl+Z
0x1B(ESC)	ESC キー
0x1C(FS)～0x1F(US)	ALT+028 ～ ALT+031
0x7F(DEL)	DEL キー(テンキーの DEL キー)

機能キーモード

制御文字は下表のキーに変換されて入力されます。

		上位バイト	
		0	1
下位バイト	0		CTRL
	1	UP	F1
	2	DOWN	F2
	3	LEFT	F3
	4	RIGHT	F4
	5	PAGE UP	F5
	6	PAGE DOWN	F6
	7		F7
	8	BS	F8
	9	TAB	F9
	A		F10
	B	HOME	ESC
	C	END	F11
	D	ENTER	F12
	E	INSERT	ALT
	F	DELETE	SHIFT



☆コントロールキーモード



機能キーモード

7.3.7 iOSでのソフトキーボード表示

iOS のデバイス (iPhone や iPad) と Bluetooth HID 接続時に、ソフトキーボードの表示/非表示を切り替えます。



表示/非表示切り替え

7.4 メモリモード設定

7.4.1 メモリモードの開始と終了

メモリモードを開始/終了するための設定です。

コマンドバーコードを読み取り後、動作が切り替わります。

メモリモードを終了して Bluetooth モードに戻る際は、Bluetooth の再接続に数秒の時間を要します。

このコマンドバーコードを読み取る以外にも、トリガキーを 10 秒間長押しすることでも、メモリモードを開始、終了することができます。



メモリモード開始



メモリモード終了

7.4.2 蓄積データの送信

メモリモードで蓄積したデータを送信するためのコマンドバーコードです。

メモリモードを終了し Bluetooth モードに戻るか、USB ケーブルでホストに接続し、ホストと通信できる状態にしてください。その後、「蓄積データの送信」のコマンドバーコードを読み取ると、ホストに転送されます。



蓄積データの送信

7.4.3 蓄積データの消去

メモリモードで蓄積したデータを、メモリ内から消去するためのコマンドバーコードです。



蓄積データの消去

7.4.4 蓄積データの件数確認

メモリモードで蓄積したデータの件数をホストに送信します。

メモリモードを終了し Bluetooth モードに戻るか、USB ケーブルでホストに接続し、ホストと通信できる状態にしてください。その後、「蓄積データの件数確認」のコマンドバーコードを読み取ります。

メモリ内に蓄積されているデータ件数が、
Total Counters=XXX
の形式でホストに送信されます。



蓄積データの件数確認

8. 詳細設定用コマンドバーコード

本章では詳細設定用コマンドバーコードを項目別にまとめています。☆印は初期値を示します。

設定方法は、左上の「設定モード ON」のバーコードを読み取った後、各設定項目のコマンドバーコードを読み取り、最後に右下の「設定モード OFF」のバーコードを読み取ると設定内容が確定されます。

8.1 システム設定

8.1.1 スキャンモード



設定モード ON

スキャンモードを以下の 3 種類から選択します。

自動検知モード

スキャナ内蔵のセンサにて、“バーコードらしきもの”や被写体の動きを認識するとスキャン処理へ移行するモードです。トリガキーで強制的に読み取り状態とすることも可能です。

連続モード

バーコードを読み取るか、タイムアウトで待機状態に戻ります。

常にスキャン処理を行うモードです。

バーコード読み取り後は自動的に次のスキャン処理へ移行します。

トリガモード

トリガキーを押したときのみスキャン処理を行うモードです。バーコードを読み取るか、トリガキーを離すか、タイムアウトで待機状態に戻ります。



自動検知モード



連続モード



☆トリガモード

設定モード OFF



8.1.2 自動検知モード感度



設定モード ON

スキャンモードで自動検知モードを選択した場合の検知感度を以下の 3 種類から選択します。

Low	低感度
Medium	標準感度
High	高感度



Low



☆Medium



High

設定モード OFF



8.1.3 エイミング



設定モード ON

エイミング光(赤色)の発光タイミングを以下の 3 種類から選択します。

- | | |
|-----------------------|---|
| 常時 ON | スキャナの電源 ON の間、常にエイミングが ON になります。
ただしトリガモードの時は省電力モードに入るため 10 秒後に OFF になります。 |
| 読み取り同期
OFF | スキャナが読み取り状態の時、読み取り照明と同期してエイミングが ON になります。
エイミングは常時 OFF になります。 |



☆常時 ON



読み取り同期



OFF

設定モード OFF



8.1.4 イルミネーション照度



設定モード ON

読み取り照明(白色)の照度を以下の3種類から選択します。

最小	最小照度で点灯します。
中間	中間照度で点灯します。
最大	最大照度で点灯します。



最小



中間



☆最大

設定モード OFF



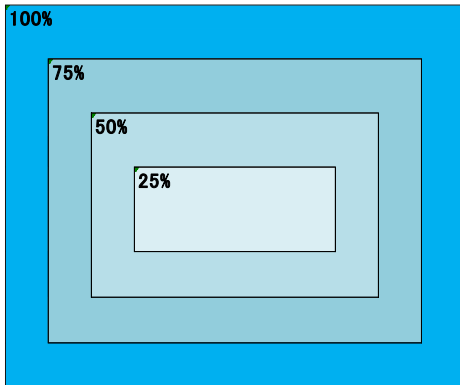
8.1.5 デコードエリア



設定モード ON

取り込んだ画像のうち、デコード対象とする範囲を設定します。

比率を小さくすると、画像の中央に向けて絞り込みが行われます。“エイミングバーコード”を選択するとエイミング光(赤色)の当たっているシンボルが対象となります。



☆100%



75%



50%



25%



エイミングバーコード

設定モード OFF



8.1.6 ベリファイ回数



設定モード ON

バーコード読み取り時の照合回数を設定します。

多くするほどチェックが厳しくなります。

少なくするほど読み取りやすくなりますが、誤読のリスクも大きくなります。



なし



☆2回



3回

設定モード OFF



8.1.7 デコードタイムアウト



設定モード ON

読み取り状態になってから、タイムアウトするまでの時間を設定します。

自動検知モードの場合、スキャナは読み取り状態になると、バーコードを読み取るか、タイムアウト時間が経過するまで読み取り状態を維持します。

タイムアウト時間は 1msec から 3,600,000msec までの値を設定することができます。

“0”に設定するとタイムアウトは無しになります。デフォルト値は 3,000msec です。

（設定例）デコードタイムアウト時間を 1,000msec に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「デコードタイムアウト」を読み取る。
- ③数字バーコードの「1」を読み取る。
- ④数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑥数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑦「設定モード OFF」を読み取る。



デコードタイムアウト(msec)

設定モード OFF



8.1.8 同一バーコード2度読みタイムアウト



設定モード ON

自動検知モードおよび連続モードにおいて、同一バーコードを連続で読み取る際のタイムアウト時間を設定します。一度バーコードを読み取ると、ここで設定されたタイムアウト時間が経過するまで同一のバーコードは読み取りません。

タイムアウト時間は 1msec から 5,000msec までの値を設定することができます。

“0”に設定するとタイムアウトは無しになります。デフォルト値は 300msec です。

10ms 以下、または、1000ms 以上の場合は読み取り直後からカウントが開始されます。

10ms～1000ms の場合は、一旦バーコードから離れてからカウントが開始されます。

（設定例）2 度読みタイムアウト時間を 250msec に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「2 度読みタイムアウト」を読み取る。
- ③数字バーコードの「2」を読み取る。
- ④数字バーコードの「5」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑥「設定モード OFF」を読み取る。



二度読みタイムアウト(msec)

設定モード OFF



8.2 シンボル設定

8.2.1 初期設定一覧

シンボル	読み取り	C/D の転送	C/D の計算	その他の項目
UPC-A	○	○	—	
UPC-E	○	○	—	
JAN/EAN-8	○	○	—	
JAN/EAN-13	○	○	—	
Code128/GS1-128	○	—	—	
Code39	○	×	×	スタート/ストップを出力しない
Code93	○	—	—	
Codabar(NW-7)	○	×	×	スタート/ストップを出力しない
ITF(Interleaved 2 of 5)	○	×	×	
Matrix 2 of 5	×	×	×	
GS1 DataBar 14	○	—	—	
GS1 DataBar 14 Stacked	○	—	—	
GS1 DataBar Expanded	○	—	—	
GS1 DataBar Expanded Stacked	○	—	—	
GS1 DataBar Limited	○	—	—	
GS1 Composite CC-A	×	—	—	
GS1 Composite CC-B	×	—	—	
GS1 Composite CC-C	×	—	—	
PDF417	○	—	—	
Micor PDF417	○	—	—	
Data Matrix	○	—	—	
QR Code	○	—	—	
Micro QR Code	○	—	—	

※1 「読み取り」欄の「○」は許可、「×」は禁止を表します。

※2 「C/D の転送」欄の「○」は転送する、「×」は転送しない、「—」は設定が無いことを表します。

※3 「C/D の計算」欄の「○」は計算する、「×」は計算しない、「—」は設定が無いことを表します。

8.2.2 全シンボル読取禁止



設定モード ON

全シンボルの読み取りを禁止にします。

特定のシンボルのみを読み取り可能にしたい場合は、本設定コードで一旦全シンボルを読み取り禁止にし、その後に使用するシンボルの読み取りのみ個別に許可してください。



全シンボル読取禁止

設定モード OFF



8.2.3 UPC-A



設定モード ON

UPC-A の読み取り許可/禁止を設定します。



☆UPC-A 読み取り許可



UPC-A 読み取り禁止

設定モード OFF





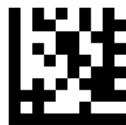
設定モード ON

UPC-A のシステムキャラクタの付加を設定します。

「付加する」を選択した場合、12 桁で出力されます。「付加しない」を選択した場合、先頭 1 桁を除いた 11 桁で出力されます。（※チェックディジット出力有りの時）



☆UPC-A のシステムキャラクタを付加する



UPC-A のシステムキャラクタを付加しない

設定モード OFF

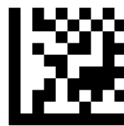




設定モード ON

UPC-A のチェックディジットの出力を設定します。

「出力しない」を選択した場合、データの最後のチェックディジットが削除されます。



☆UPC-A のチェックディジットを出力する



UPC-A のチェックディジットを出力しない

設定モード OFF

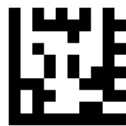




設定モード ON

UPC-A を JAN/EAN-13 形式に変換するかどうかを設定します。

「変換する」を選択した場合、先頭にシステムキャラクタとカントリーコードを付与した 13 桁で出力されます。



UPC-A を JAN/EAN-13 形式に変換する



☆UPC-A を JAN/EAN-13 形式に変換しない

設定モード OFF





設定モード ON

UPC-A のアドオンコードの読み取り許可/禁止を設定します。



UPC-A のアドオンコードの読み取りを許可する



☆UPC-A のアドオンコードの読み取りを禁止する

設定モード OFF





設定モード ON

前項で UPC-A のアドオンコードの読み取り許可を選択した場合、アドオンコード付きを必須条件とするかどうかを設定します。



UPC-A のアドオンコード付きのみ読み取る



☆UPC-A のアドオンコードを必須としない

設定モード OFF



8.2.4 UPC-E



設定モード ON

UPC-E の読み取り許可/禁止を設定します。



☆UPC-E 読み取り許可



UPC-E 読み取り禁止

設定モード OFF

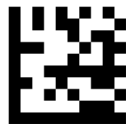




設定モード ON

UPC-E のシステムキャラクタの付加を設定します。

「付加する」を選択した場合、8 桁で出力されます。「付加しない」を選択した場合、先頭 1 桁を除いた 7 桁で出力されます。（※チェックディジット出力有りの時）



☆UPC-E のシステムキャラクタを付加する



UPC-E のシステムキャラクタを付加しない

設定モード OFF

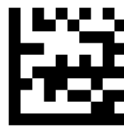




設定モード ON

UPC-E のチェックディジットの出力を設定します。

「出力しない」を選択した場合、データの最後のチェックディジットが削除されます。



☆UPC-E のチェックディジットを出力する



UPC-E のチェックディジットを出力しない

設定モード OFF





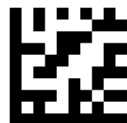
設定モード ON

UPC-E を UPC-A 形式に変換するかどうかを設定します。

「変換する」を選択した場合、12 桁で出力(システムキャラクタ/チェックディジット付加の場合)されます。



UPC-E を UPC-A の形式に変換する



☆UPC-E を UPC-A の形式に変換しない

設定モード OFF





設定モード ON

UPC-E のアドオンコードの読み取り許可/禁止を設定します。



UPC-E のアドオンコードの読み取りを許可する



☆UPC-E のアドオンコードの読み取りを禁止する

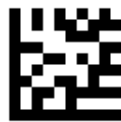
設定モード OFF





設定モード ON

前項で UPC-E のアドオンコードの読み取り許可を選択した場合、アドオンコード付きを必須条件とするかどうかを設定します。



UPC-E のアドオンコード付きのみ読み取る



☆UPC-E のアドオンコードを必須としない

設定モード OFF



8.2.5 JAN/EAN-8



設定モード ON

JAN/EAN-8 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆JAN/EAN-8 読み取り許可



JAN/EAN-8 読み取り禁止

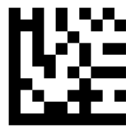
設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-8 のチェックディジットの出力を設定します。
「出力しない」を選択した場合、データの最後のチェックディジットが削除されます。



☆JAN/EAN-8 のチェックディジットを出力する



JAN/EAN-8 のチェックディジットを出力しない

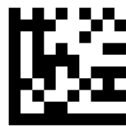
設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-8 を JAN/EAN-13 形式に変換するかどうかを設定します。
「変換する」を選択した場合、13 桁で出力されます。



JAN/EAN-8 を JAN/EAN-13 の形式に変換する



☆JAN/EAN-8 を JAN/EAN-13 の形式に変換しない

設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-8 のアドオンコードの読み取り許可/禁止を設定します。



JAN/EAN-8 のアドオンコードの読み取りを許可する



☆JAN/EAN-8 のアドオンコードの読み取りを禁止する

設定モード OFF





設定モード ON

前項で JAN/EAN-8 のアドオンコードの読み取り許可を選択した場合、アドオンコード付きを必須条件とすることがどうかを設定します。



JAN/EAN-8 のアドオンコード付きのみ読み取る



☆JAN/EAN-8 のアドオンコードを必須としない

設定モード OFF



8.2.6 JAN/EAN-13



設定モード ON

JAN/EAN-13 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆JAN/EAN-13 読み取り許可



JAN/EAN-13 読み取り禁止

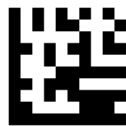
設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-13 のチェックディジットの出力を設定します。
「出力しない」を選択した場合、データの最後のチェックディジットが削除されます。



☆JAN/EAN-13 のチェックディジットを出力する



JAN/EAN-13 のチェックディジットを出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-13 のアドオンコードの読み取り許可/禁止を設定します。



JAN/EAN-13 のアドオンコードの読み取りを許可する



☆JAN/EAN-13 のアドオンコードの読み取りを禁止する

設定モード OFF





設定モード ON

前項で JAN/EAN-13 のアドオンコードの読み取り許可を選択した場合、アドオンコード付きを必須条件とするかどうかを設定します。



JAN/EAN-13 のアドオンコード付きのみ読み取る



☆JAN/EAN-13 のアドオンコードを必須としない

設定モード OFF



8.2.7 Code128/GS1-128



設定モード ON

Code128/GS1-128 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Code128/GS1-128 読み取り許可



Code128/GS1-128 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

Code128 の読み取り可能桁数を設定します。

One Discrete Length	指定した桁数のみ読み取ります。
Two Discrete Length	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
Length Within Range	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
Any Length	桁数の制約なく読み取ります。

（設定例） 最小桁数を 3, 最大桁数を 12 に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「Length Within Range」を読み取る。
- ③数字バーコードの「0」を読み取る。
- ④数字バーコードの「3」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「1」を読み取る。
- ⑥数字バーコードの「2」を読み取る。
- ⑦「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



8.2.8 Code39



設定モード ON

Code39 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Code39 読み取り許可



Code39 読み取り禁止

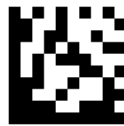
設定モード OFF



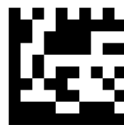


設定モード ON

Code39 Full ASCII 変換の許可/禁止を設定します。



Code39 Full ASCII 変換許可



☆Code39 Full ASCII 変換禁止

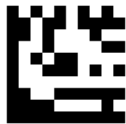
設定モード OFF



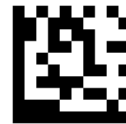


設定モード ON

Code39 のチェックディジットの処理を設定します。



☆チェックディジットをチェックしない



チェックディジットをチェック&出力する



チェックディジットをチェック&出力しない

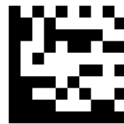
設定モード OFF





設定モード ON

Code39 のスタート/ストップキャラクタの出力を設定します。



Code39 のスタート/ストップを出力する



☆Code39 のスタート/ストップを出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

Code39 の読み取り可能桁数を設定します。

One Discrete Length	指定した桁数のみ読み取ります。
Two Discrete Length	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
Length Within Range	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
Any Length	桁数の制約なく読み取ります。

（設定例） 桁数 6 または桁数 12 のみ読み取り可能に設定する場合

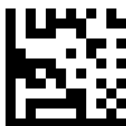
- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「Two Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「0」を読み取る。
- ④数字バーコードの「6」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「1」を読み取る。
- ⑥数字バーコードの「2」を読み取る。
- ⑦「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



8.2.9 Code93



設定モード ON

Code93 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Code93 読み取り許可



Code93 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

Code93 の読み取り可能桁数を設定します。

One Discrete Length	指定した桁数のみ読み取ります。
Two Discrete Length	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
Length Within Range	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
Any Length	桁数の制約なく読み取ります。

(設定例) 10 桁のみ読み取り可能に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「One Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「1」を読み取る。
- ④数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑤「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



8.2.10 Codabar(NW-7)



設定モード ON

Codabar の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Codabar 読み取り許可



Codabar 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

Codabar のチェックディジットの処理を設定します。



☆チェックディジットをチェックしない



チェックディジットをチェック&出力する



チェックディジットをチェック&出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

Codabar のスタート/ストップキャラクタの出力を設定します。



Codabar のスタート/ストップを出力する



☆Codabar のスタート/ストップを出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

Codabar の読み取り可能桁数を設定します。

One Discrete Length	指定した桁数のみ読み取ります。
Two Discrete Length	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
Length Within Range	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
Any Length	桁数の制約なく読み取ります。

(設定例) 桁数 6 または桁数 14 のみ読み取り可能に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「Two Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「0」を読み取る。
- ④数字バーコードの「6」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「1」を読み取る。
- ⑥数字バーコードの「4」を読み取る。
- ⑦「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



8.2.11 ITF(Interleaved 2 of 5)



設定モード ON

ITF の読み取り許可/禁止を設定します。



☆ITF 読み取り許可



ITF 読み取り禁止

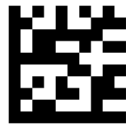
設定モード OFF





設定モード ON

ITF のチェックディジットの処理を設定します。



☆ITF のチェックディジットをチェックしない



ITF のチェックディジットをチェック&出力する

設定モード OFF





設定モード ON

ITF の読み取り可能桁数を設定します。

One Discrete Length	指定した桁数のみ読み取ります。
Two Discrete Length	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
Length Within Range	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
Any Length	桁数の制約なく読み取ります。

（設定例）8 桁のみ読み取り可能に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「One Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「8」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



8.2.12 Matrix 2 of 5



設定モード ON

Matrix 2 of 5 の読み取り許可/禁止を設定します。



Matrix 2 of 5 読み取り許可



☆Matrix 2 of 5 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

Matrix 2 of 5 の読み取り可能桁数を設定します。

One Discrete Length	指定した桁数のみ読み取ります。
Two Discrete Length	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
Length Within Range	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
Any Length	桁数の制約なく読み取ります。

（設定例）8 桁のみ読み取り可能に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「One Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「8」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



8.2.13 GS1 DataBar 14



設定モード ON

GS1 DataBar 14(標準型)の読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar 14 読み取り許可



GS1 DataBar 14 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 DataBar 14 スタックシンボルの読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar 14 Stacked 読み取り許可



GS1 DataBar 14 Stacked 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 DataBar 14 AI(01)の出力を設定します。

デフォルトでは AI(アプリケーション識別子)の(01)を出力します。カッコは出力されません。



☆GS1 DataBar 14 の AI(01)を出力する



GS1 DataBar 14 の AI(01)を出力しない

設定モード OFF



8.2.14 GS1 DataBar Expanded



設定モード ON

GS1 DataBar Expanded の読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar Expanded 読み取り許可



GS1 DataBar Expanded 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 DataBar Expanded スタックシンボルの読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar Expanded Stacked 読み取り許可



GS1 DataBar Expanded Stacked 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 DataBar Expanded AI(01)の出力を設定します。
デフォルトでは AI(アプリケーション識別子)の(01)を出力します。カッコは出力されません。



☆GS1 DataBar Expanded の AI(01)を出力する



GS1 DataBar Expanded の AI(01)を出力しない

設定モード OFF



8.2.15 GS1 DataBar Limited



設定モード ON

GS1 DataBar Limited の読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar DataBar Limited 読み取り許可



GS1 DataBar Expanded 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 DataBar Limited AI(01)の出力を設定します。
デフォルトでは AI(アプリケーション識別子)の(01)を出力します。カッコは出力されません。



☆GS1 DataBar Limited の AI(01)を出力する



GS1 DataBar Limited の AI(01)を出力しない

設定モード OFF



8.2.16 GS1 Composite



設定モード ON

GS1 Composite CC-A の読み取り許可/禁止を設定します。



GS1 Composite CC-A 読み取り許可



☆GS1 Composite CC-A 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 Composite CC-B の読み取り許可/禁止を設定します。



GS1 Composite CC-B 読み取り許可



☆GS1 Composite CC-B 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 Composite CC-C の読み取り許可/禁止を設定します。



GS1 Composite CC-C 読み取り許可



☆GS1 Composite CC-C 読み取り禁止

設定モード OFF



8.2.17 PDF417



設定モード ON

PDF417 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆PDF417 読み取り許可



PDF417 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

Micro PDF417 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Micro PDF417 読み取り許可



Micro PDF417 読み取り禁止

設定モード OFF



8.2.18 Data Matrix



設定モード ON

Data Matrix の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Data Matrix 読み取り許可



Data Matrix 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

長方形 Data Matrix の読み取り許可/禁止を設定します。



☆長方形 Data Matrix 読み取り許可



長方形 Data Matrix 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

反転 Data Matrix の読み取り許可/禁止を設定します。
本設定は Data Matrix の読み取りが許可されている場合に有効です。



☆反転 Data Matrix 読み取り許可



反転 Data Matrix 読み取り禁止

設定モード OFF



8.2.19 QR Code



設定モード ON

QR Code の読み取り許可/禁止を設定します。



☆QR Code 読み取り許可



QR Code 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

反転 QR Code の読み取り許可/禁止を設定します。
本設定は QR Code の読み取りが許可されている場合に有効です。



☆反転 QR Code 読み取り許可



反転 QR Code 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

Micro QR Code の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Micro QR Code 読み取り許可



Micro QR Code 読み取り禁止

設定モード OFF



8.3 データフォーマットの設定

8.3.1 シンボル ID



設定モード ON

シンボル ID の出力を設定します。

「付加する」を選択した場合、データの先頭にシンボル ID が付加されます。

独自形式 独自形式のシンボル ID を付加する

AIM 形式 AIM 形式のシンボル ID を付加する

シンボル ID の一覧は「8.5 シンボル ID 一覧」をご覧ください。プリフィックスと同時に付加する設定を行った場合は、プリフィックスの後ろに出力されます。



☆シンボル ID を付加しない



独自形式のシンボル ID を付加する



AIM 形式のシンボル ID を付加する

設定モード OFF



8.3.2 プリフィックス



設定モード ON

全てのシンボルを対象として、データ先頭に付与するプリフィックスを設定します。
デフォルトは「プリフィックス無し」です。

（設定例）プリフィックスに“ABC”を設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「全シンボル用プリフィックス設定」を読み取る。
- ③ASCII バーコードの「A」を読み取る。
- ④ASCII バーコードの「B」を読み取る。
- ⑤ASCII バーコードの「C」を読み取る。
- ⑥「設定モード OFF」を読み取る。



☆全シンボル用プリフィックス無し



全シンボル用プリフィックス設定

設定モード OFF





設定モード ON

特定のシンボルを対象として、データ先頭に付与するプリフィックスを設定します。
デフォルトは「プリフィックス無し」です。
全シンボル用と特定シンボル用を同時に設定した場合は、特定シンボル用が優先されます。

（設定例）QR Code のプリフィックスに“80”を設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「特定シンボル用プリフィックス設定」を読み取る。
- ③シンボルバーコードの「QR Code」を読み取る。
- ④数字バーコードの「8」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑥「設定モード OFF」を読み取る。



☆特定シンボル用プリフィックス無し



特定シンボル用プリフィックス設定

設定モード OFF



8.3.3 サフィックス



設定モード ON

全てのシンボルを対象として、データ終端に付与するサフィックスを設定します。
デフォルトは「サフィックス無し」です。

（設定例） サフィックスに“XYZ”を設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「全シンボル用サフィックス設定」を読み取る。
- ③ASCII バーコードの「X」を読み取る。
- ④ASCII バーコードの「Y」を読み取る。
- ⑤ASCII バーコードの「Z」を読み取る。
- ⑥「設定モード OFF」を読み取る。



☆全シンボル用サフィックス無し



全シンボル用サフィックス設定

設定モード OFF





設定モード ON

特定のシンボルを対象として、データ終端に付与するサフィックスを設定します。
デフォルトは「サフィックス無し」です。
全シンボル用と特定シンボル用を同時に設定した場合は、特定シンボル用が優先されます。

（設定例）QR Code のサフィックスに“F1 キー”を設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「特定シンボル用サフィックス設定」を読み取る。
- ③シンボルバーコードの「QR Code」を読み取る。
- ④ファンクションキーバーコードの「F1」を読み取る。
- ⑤「設定モード OFF」を読み取る。



☆特定シンボル用サフィックス無し



特定シンボル用サフィックス設定

設定モード OFF



8.3.4 終端キャラクタ



設定モード ON

データの一番最後に付加される終端キャラクタを設定します。
サフィックスが設定されている場合は、サフィックスの後ろに付加されます。



なし



☆CR (0x0D)



CR／LF (0x0D/0x0F)



TAB (0x09)

設定モード OFF



8.3.5 Caps Lock



設定モード ON

Caps Lock の状態を設定します。

「Caps Lock ON」に設定すると、キーボードの Caps Lock が固定されたのと同様の状態になり、データに含まれる英小文字と英大文字が変換されます。



☆Caps Lock OFF



Caps Lock ON

設定モード OFF



8.3.6 大文字/小文字変換



設定モード ON

大文字/小文字変換を設定します。
バーコードデータに含まれる英字が設定内容に従って出力されます。



☆変換しない



常に大文字で出力する



常に小文字で出力する

設定モード OFF



8.3.7 GSキャラクタ変換



設定モード ON

可変長 AI のセパレータである GS(0x1D)を他のキャラクタに置き換えて出力することができます。
デフォルトは「変換無し」です。

(設定例) GS(0x1D)を“#”に変換する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「GS を変換する」を読み取る。
- ③ASCII バーコードの「#」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。



☆GS を変換しない



GS を変換する

設定モード OFF



8.3.8 先頭データの削除



設定モード ON

バーコードデータの先頭から、設定した桁数を削除することができます。設定可能範囲は 0～20 桁です。

（設定例）全シンボルを対象として先頭から 2 桁目までを削除する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「全シンボル用先頭データ削除」を読み取る。
- ③数字バーコードの「2」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。

（設定例）Code128 を対象として先頭から 4 桁目までを削除する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「特定シンボル用先頭データ削除」を読み取る。
- ③シンボルバーコードの「Code128」を読み取る。
- ④数字バーコードの「4」を読み取る。
- ⑤「設定モード OFF」を読み取る。



全シンボル用先頭データ削除



特定シンボル先頭データ削除

設定モード OFF



8.3.9 終端データの削除



設定モード ON

バーコードデータの終端から、設定した桁数を削除することができます。設定可能範囲は 0～20 桁です。

（設定例）全シンボルを対象として終端から 3 桁目までを削除する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「全シンボル用終端データ削除」を読み取る。
- ③数字バーコードの「3」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。

（設定例）Code39 を対象として終端から 5 桁目までを削除する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「特定シンボル用終端データ削除」を読み取る。
- ③シンボルバーコードの「Code39」を読み取る。
- ④数字バーコードの「5」を読み取る。
- ⑤「設定モード OFF」を読み取る。



全シンボル用終端データ削除



特定シンボル先頭データ削除

設定モード OFF



9. 付録

9.1 数字バーコード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

9.2 シンボルバーコード



UPC-A



UPC-E



JAN/EAN-8



JAN/EAN-13



Code 128



Code 39



Code 93



Codabar(NW-7)



ITF(Interleaved 2 of 5)



Matrix 2 of 5



GS1 DataBar 14



GS1 DataBar 14 Stacked



GS1 DataBar Expanded



GS1 DataBar Expanded Stacked



GS1 DataBar Limited



GS1 Composite CC-A



GS1 Composite CC-B



GS1 Composite CC-C



PDF417



Micro PDF417



Data Matrix



QR Code



Micro QR Code

9.3 ASCIIバーコード

HEX	Decimal	ASCII	
00	0	NUL	
01	1	SOH	
02	2	STX	
03	3	ETX	

HEX	Decimal	ASCII	
04	4	EOT	
05	5	ENQ	
06	6	ACK	
07	7	BEL	

HEX	Decimal	ASCII	
08	8	BS	
09	9	TAB	
0A	10	LF	
0B	11	VT	

HEX	Decimal	ASCII	
0C	12	FF	
0D	13	CR	
0E	14	SO	
0F	15	SI	

HEX	Decimal	ASCII	
10	16	DLE	
11	17	DC1	
12	18	DC2	
13	19	DC3	

HEX	Decimal	ASCII	
14	20	DC4	
15	21	NAK	
16	22	SYN	
17	23	ETB	

HEX	Decimal	ASCII	
18 (CAN)	24	CAN	
19	25	CAN	
1A	26	SUB	
1B	27	ESC	

HEX	Decimal	ASCII	
1C	28	FS	
1D	29	GS	
1E	30	RS	
1F	31	US	

HEX	Decimal	ASCII	
20	32	SPACE	
21	33	!	
22	34	"	
23	35	#	

HEX	Decimal	ASCII	
24	36	\$	
25	37	%	
26	38	&	
27	39	'	

HEX	Decimal	ASCII	
28	40	(	
29	41	)	
2A	42	*	
2B	43	+	

HEX	Decimal	ASCII	
2C	44	,	
2D	45	-	
2E	46	.	
2F	47	/	

HEX	Decimal	ASCII	
30	48	0	
31	49	1	
32	50	2	
33	51	3	

HEX	Decimal	ASCII	
34	52	4	
35	53	5	
36	54	6	
37	55	7	

HEX	Decimal	ASCII	
38	56	8	
39	57	9	
3A	58	:	
3B	59	;	

HEX	Decimal	ASCII	
3C	60	<	
3D	61	=	
3E	62	>	
3F	63	?	

HEX	Decimal	ASCII	
40	64	@	
41	65	A	
42	66	B	
43	67	C	

HEX	Decimal	ASCII	
44	68	D	
45	69	E	
46	70	F	
47	71	G	

HEX	Decimal	ASCII	
48	72	H	
49	73	I	
4A	74	J	
4B	75	K	

HEX	Decimal	ASCII	
4C	76	L	
4D	77	M	
4E	78	N	
4F	79	O	

HEX	Decimal	ASCII	
50	80	P	
51	81	Q	
52	82	R	
53	83	S	

HEX	Decimal	ASCII	
54	84	T	
55	85	U	
56	86	V	
57	87	W	

HEX	Decimal	ASCII	
58	88	X	
59	89	Y	
5A	90	Z	
5B	91	[	

HEX	Decimal	ASCII	
5C	92	\	
5D	93	]	
5E	94	^	
5F	95	_	

HEX	Decimal	ASCII	
60	96	,	
62	97	a	
62	98	b	
63	99	c	

HEX	Decimal	ASCII	
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	

HEX	Decimal	ASCII	
68	104	h	
69	105	i	
6A	106	j	
6B	107	k	

HEX	Decimal	ASCII	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	

HEX	Decimal	ASCII	
70	112	p	
71	113	q	
72	114	r	
73	115	s	

HEX	Decimal	ASCII	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	

HEX	Decimal	ASCII	
78	120	x	
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	

HEX	Decimal	ASCII	
7C	124		
7D	125	}	
7E	126	~	
7F	127	Delete	

9.4 ファンクションキーバーコード



Insert



Delete



Home



End



Up Arrow



Down Arrow



Left Arrow



Right Arrow



Shift



ESC



Ctrl



Alt



Page Up



Page Down



F1



F2



F3



F4



F5



F6



F7



F8



F9



F10



F11



F12

9.5 シンボルID一覧

・独自形式 ID は 1～2 文字で示されます。

・AIM コード ID キャラクタは、3 文字で示されます。

1 文字目: ”J” (固定)

2 文字目: 表 A-1 のアルファベット

3 文字目: 表 A-2 の数字 (オプション値)

例) JE0

表 A-1

シンボル種別	独自形式 ID	AIM 形式 ID
UPC-A	A	E
UPC-E	E	E
JAN/EAN-8	FF	E
JAN/EAN-13	F	E
Code128	K	C
Code39	M	A
Code93	L	G
Codabar(NW-7)	N	F
ITF(Interleaved 2 of 5)	I	I
Matrix 2 of 5	G	X
GS1 DataBar 14	RS	e
GS1 DataBar Expanded	RX	e
GS1 DataBar Limited	RL	e
GS1 Composite CC-A	m	e
GS1 Composite CC-B	n	e
GS1 Composite CC-C	i	e
PDF417	r	L
Micro PDF417	s	L
Data Matrix	t	d
QR Code	u	Q
Micro QR Code	j	Q

表 A-2

シンボル種別	オプション値	意味
Code39	0	チェックディジットのチェックを行っていない
	1	チェックディジットをチェックした
	3	チェックディジットをチェックし、削除した
	4	チェックディジットのチェックを行っていない(フルアスキー変換有効)
	5	チェックディジットをチェックした(フルアスキー変換有効)
	7	チェックディジットをチェックし、削除した(フルアスキー変換有効)
Code128, GS1-128	0	FNC1 が先頭にある
	1	FNC1 が先頭にある (GS1-128)
	2	FNC1 が 2 番目にある
JAN/EAN/UPC	0	JAN/EAN-13, UPC-A, UPC-E のデータである
	3	UPC-A, UPC-E, JAN/EAN-13 のアドオンコード付きデータである
	4	JAN/EAN-8 のデータである
Codabar(NW-7)	0	チェックディジットのチェックを行っていない
	2	チェックディジットをチェックした
	6	チェックディジットをチェックし、削除した
Code93	0	(オプション値固定)
ITF(Interleaved 2 of 5)	0	チェックディジットのチェックを行っていない
	1	チェックディジットをチェックした
	3	チェックディジットをチェックし、削除した
Matrix 2 of 5	M	(オプション値固定)
GS1 DataBar	0	(オプション値固定)
GS1 Composite	0	(オプション値固定)
PDF417	0	PDF417 1994 仕様に準じてリーダーが設定
	1	ECI 仕様に準じてリーダーが設定、全データキャラクタ 92 を 2 重にする
	2	ECI 仕様に準じてリーダーが設定、全データキャラクタ 92 を 2 重にしない
Micro PDF417	0	PDF417 1994 仕様に準じてリーダーが設定
	1	ECI 仕様に準じてリーダーが設定、全データキャラクタ 92 を 2 重にする
	2	ECI 仕様に準じてリーダーが設定、全データキャラクタ 92 を 2 重にしない
	3	Code128 エミュレーション: 1 番目の位置に FNC1
	4	Code128 エミュレーション: 最初の文字又は数字組合せの後に FNC1
	5	Code128 エミュレーション: FNC1 なし
Data Matrix	0	ECC 000~ECC 140
	1	ECC 200
	2	ECC 200, 1 or 5 番目の位置に FNC1 がくる
	3	ECC 200, 2 or 6 番目の位置に FNC1 がくる
	4	ECC 200, ECI プロトコルが実行される
	5	ECC 200, 1 or 5 番目の位置に FNC1, ECI プロトコルが実行される
	6	ECC 200, 2 or 6 番目の位置に FNC1, ECI プロトコルが実行される
QR Code / Micro QR Code	0	Model 1 シンボル
	1	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行されない
	2	Model 2 シンボル、ECI プロトコルが実行される
	3	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行されない、1 番目の位置に FNC1
	4	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行される、1 番目の位置に FNC1
	5	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行されない、2 番目の位置に FNC1
	6	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行される、2 番目の位置に FNC1

9.6 設定一覧と初期値

カテゴリ	項目		設定値
システム設定(クイック)	オートパワーオフ		1 分
	ブザーの設定		ON
インターフェース設定	Bluetooth インターフェースの設定		Bluetooth HID
	USB ドングルの USB インターフェース設定		USB HID
	USB 接続時の動作設定		無効(充電専用)
	USB 接続時の USB インターフェース設定		USB HID
HID 設定	Bluetooth・USB 接続時のキーボード言語		日本
	USB ドングルのキーボード言語		日本
	HID 制御文字		コントロールキーモード
	Bluetooth 接続時のキー入力速度		中速
	USB 接続・USB ドングル接続時のキー入力速度		高速
	文字コード		UTF-8(WORD)
	HID 制御文字		コントロールキーモード
	iOS でのソフトキーボード表示		—
システム設定(詳細)	スキャンモード		トリガモード
	自動検知モード感度		標準感度
	エイミング		常時 ON
	イルミネーション照度		最大
	デコードエリア		100%
	ベリファイ回数		2 回
	デコードタイムアウト		3,000msec
	同一バーコード 2 度読みタイムアウト		300msec
シンボル設定	UPC-A	読み取り	許可
		システムキャラクタ	付加する
		チェックディジット	出力する
		JAN/EAN-13 形式に変換	変換しない
		アドオンコード読み取り	禁止
		アドオンコード条件	必須としない
	UPC-E	読み取り	許可
		システムキャラクタ	付加する
		チェックディジット	出力する
		UPC-A 形式に変換	変換しない
		アドオンコード読み取り	禁止
		アドオンコード条件	必須としない
	JAN/EAN-8	読み取り	許可
		チェックディジット	出力する
		JAN/EAN-13 形式に変換	変換しない
		アドオンコード読み取り	禁止
		アドオンコード条件	必須としない
	JAN/EAN-13	読み取り	許可
		チェックディジット	出力する
		アドオンコード読み取り	禁止
		アドオンコード条件	必須としない
	Code128/GS1-128	読み取り	許可
		読み取り可能桁数	Any Length
	Code39	読み取り	許可
		Full ASCII の読み取り	禁止
		チェックディジット	チェックしない
		スタート/ストップキャラクタ	出力しない
	読み取り可能桁数		Any Length

	Code93	読み取り	許可
		読み取り可能桁数	Any Length
	Codabar(NW-7)	読み取り	許可
		チェックディジット	チェックしない
		チェックディジットの計算方法	モジュラス 16
		スタート/ストップキャラクタ	出力しない
		読み取り可能桁数	Any Length
シンボル設定	ITF(Interleaved 2 of 5)	読み取り	許可
		チェックディジット	チェックしない
		読み取り可能桁数	Any Length
	Matrix 2 of 5	読み取り	禁止
		読み取り可能桁数	Any Length
	GS1 DataBar 14	読み取り	許可
		スタックシンボル読み取り	許可
		AI(01)の出力	出力する
	GS1 DataBar Expanded	読み取り	許可
		AI(01)の出力	出力する
	GS1 Composite	CC-A の読み取り	禁止
		CC-B の読み取り	禁止
		CC-C の読み取り	禁止
	PDF417	読み取り	許可
		Micro PDF417 の読み取り	許可
	Data Matrix	読み取り	許可
		長方形シンボルの読み取り	許可
		反転シンボルの読み取り	許可
	QR Code	読み取り	許可
		反転シンボルの読み取り	許可
		Micro QR Code の読み取り	許可
データフォーマットの 設定	シンボル ID		付加しない
	全シンボル用プリフィックス		なし
	特定シンボル用プリフィックス		なし
	全シンボル用サフィックス		なし
	特定シンボル用サフィックス		なし
	終端キャラクタ		CR (0x0D)
	Caps Lock		OFF
	大文字/小文字変換		変換しない
	GS1 キャラクタ変換		変換しない
	先頭データの削除		削除しない
	終端データの削除		削除しない

BW-845BT

ユーザーズマニュアル

2025 年 5 月 1 日 第1版発行

Copyright©2025 Aimex Corporation.

アイメックス株式会社